

きらっとヒカル 北秋田の企業 Vol.7

秋田工業株式会社 阿仁工場

何をしている会社？

平成4年から阿仁工場の操業を開始し、平成22年に第2工場を増設。能代本社と阿仁工場間のネットワーク通信による図面、加工データの共有化と連携により、半導体製造装置、医療・介護福祉機器などの精密板金加工並びに製品の製造を行っています。

会社のアピールポイントは？

自然豊かな環境に囲まれた阿仁の地で、レーザー加工機、ターレットパンチプレス、ベンディングマシンなどの充実した設備と製作部品一つ一つにバーコードを付けた進捗管理により徹底した生産管理体制で「モノづくり」に取り組んでいます。



【会社概要】
◆所在地 北秋田市阿仁萱草字地蔵岱43
◆主な事業 精密板金加工、製品の製造
◆従業員数 27人
◆電話番号 0186-82-3333



レーザー加工機など 折り曲げ加工のデータ入力



若手社員 の声



佐藤 直樹さん(31)

私は入社してから7年目になります。NCベンダーのオペレーターとしてさまざまな製品の曲げ加工をしています。もともと物作りという仕事が好きなので、品質の良い製品を作ることが常に心がけています。

ショー コリガン



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.16

「たかのす太鼓まつり」

朝からゴロゴロと鳴っていた雷。太鼓まつりの開演より先に、天による演奏…。

この1回目の演奏が終了したあと、見事に雨が上がり、人による演奏の出番！早朝の部に負けないように、綴子下町太鼓保存会が心臓まで響く太鼓を熱心に演奏してくれました。昔から、太鼓が雷を真似していると言われてきていますが、太鼓に比べたら今回の雷の方がただの偽物のように聞こえました！

ギネスによって認められていて、世界一というランキングを達成した太鼓を創り出した下町と上町の競争は、現代でもあいかわらず激しく行われています。合同演奏にもお互いの競争

心が感じられます！（お正月の大太鼓演奏も楽しみにしています）

私の中では、お祭りと言えば、やっぱり食べ物ですね！鎌倉時代から伝わってきた行事だと聞いたら、ふと鎌倉時代にどういった食生活を送っていたらと想像してしまいがちです。ちなみに、今回のまつりで最初に注文したのはハンバーガーとフレンチトースト。この2つは鎌倉時代になかったことに自信があります。



北秋田市 市の部 第4位

第4回秋田25市町村対抗駅伝

ふるさとあきたラン！



第4回秋田25市町村対抗駅伝「ふるさとあきたラン！」が、10月1日に男鹿市を会場に行われました。

本市からは2チームが出場。小学生から一般壮年まで世代を超えた9人の選手は、北秋田市代表という誇りを胸に、タスキをつないで31キロを走り抜きました。結果は全体(34チーム出場)でAチームが7位、Bチームが14位、市の部では4位入賞を果たしました。沿道からの熱い声援ありがとうございました。

- 出場選手**
- ＜北秋田市A＞ [監督]高橋喜久雄(田子ケ沢)[1区]松浦鷹祐(前田小6年)[2区]柴田栞奈(前田小6年)[3区]鈴木翼(鷹巣中3年)[4区]清水鳴浩(前田駅前)[5区]大野愛梨(阿仁中3年)[6区]津谷幸希(秋田北鷹高3年)[7区]三沢純也(大堤)[8区]安部有里子(増沢)[9区]工藤千翔(秋田北鷹高2年)
- ＜北秋田市B＞ [監督]堀田智宏(新舟見町)[1区]田中佑空(合川小6年)[2区]近藤柚葉(鷹巣中央小6年)[3区]河田健登(合川中3年)[4区]櫻田雅人(東根田)[5区]内藤涼葉(鷹巣中3年)[6区]佐藤智一(秋田北鷹高3年)[7区]三沢悠也(大堤)[8区]杉渕澄子(増沢)[9区]田畑妃海(秋田北鷹高3年)

環境 コラム 第8回

環境を思う夜長の月あかり

枯葉舞い散る季節となり、追々寒さに向かいますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。

秋になると、よく、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋など、「〇〇の秋」という言葉を耳にします。秋は過ごしやすいい気候であり、日が落ちるのも早く家で過ごす時間が増え、何かにじっくり取り組むのに適した季節のように感じます。だからこそ使われる言葉なのかもしれません。ということで、それぞれの秋で環境意識を高めてみました。題して「環境の秋」！

読書の秋で読んだ本は、古紙リサイクルへ。紙はとても優秀な資源です。燃やすのはもったいない。捨てる時にはリサイクルするように努めましょう。本市の古紙の資源化量は774トンで、資源化量全体の約半分です。より一層のリサイクル量アップを目指しましょう。

食欲の秋ですが、おいしいものがたくさんあって食べ残してしまうこともありますか。日

本の食品ロスは、年間約630万トンあります。この量は世界の食糧援助量の約2倍になります。もったいないは世界を救います。

スポーツの秋ということで、車移動を自転車や徒歩にしてみれば、日本のCO2排出量の2割程が運輸関係とされています。排気ガスが減って地球にやさしく、ガソリン代も減り財布にやさしく、健康にも良く、一石三鳥です。

このように普段の生活で少しずつ環境意識を高め、環境の秋を実践していきましょう。

ヒックアップ！

11月はエコドライブ推進月間

政府の関係省庁で構成する「エコドライブ普及連絡会」では行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる11月をエコドライブ推進月間と位置付けています。ふんわりアクセル、アイドリングストップなど、運転する際もエコを意識してみましょう。